

こちらもカントリー大作戦



2008.9.15

昨夜は十五夜



スカウト田んぼの稲刈りなのだー

午前中にスカウトの日、カントリー大作戦を行い、午後からは有志(M副長親子とボーイ隊長・近所のビーバー友達親子)にて、スカウト田んぼの稲刈りである。みんな、ご存知だとは思いますが、この田んぼは、平家ボタル保護のために作付けをおこなっている。今夏も、ビーバー隊のホタルの鑑賞会で大勢に感動を与えた。稲作を始めて今年で2年目、去年は稲刈りは行ったが脱穀まで至らず残念！今年も、ぬかるみと腰痛と戦い、作付け面積(約2倍に)を増やした。予定では平均1㎡当たり500g×50㎡で25kgの収穫を目論んだが、なんせ無農薬栽培なので、害虫・病気等の影響度合いが心配だ。中身の入っていない籾殻が、たくさん落ちていたが、これは出穂の柔らかい時期にスズメが食べたあとである。収穫したものは、作業従事者で山分けとなるのだ。来年の無農薬米「ホタルの置き土産」の分け前に預かりたい方は、田起こし、田植え、ホタル鑑賞会、稲刈りにご参加ください。エントリー数の多い場合は、作付け面積の拡大を行いたいと思います。



今年の稲の実り具合は、どんなあんべーかな？ 当初の予定では、先週の日曜日にやるつもりが、雨模様の予報のため中止にしたら晴れてしまった。若干であるが倒れと実の入っていない殻が見受けられる。ピカピカ光って見えるひも状のものは、スズメ除けのテープである。ピカピカ光り、風が吹くとスズメの天敵の猛禽類の羽音がする。ちなみに、スズメは合成である。



1年中、水が湧き出ているジュークジューク田んぼ(谷津田)なので、稲刈りの際に足が埋まるのを防ぐために、今年は1箇所の本数を2・3本とし、密に植えてみた。切り株の間隔が狭いので、稲の根がうまく全体的に張り、沈み込みが少なかったようだ。
でも、この状態ですぐに田植えが出来そうだ。
ちなみに、機械植えの苗箱1つ分植えた。我が家は、昼飯を食べてすぐに取り掛かった。まだ、息子のビーバー友達親子と、ボーイ隊長は来ていない。4分の1を刈った時点で暑くていやになった。来年の作付け面積を増やすべきか？、現状維持か？息子ビーバーは、いう事を良く聞けば買ってやると約束した、ゲームを車でやって出てこない。また、だまされた！ この後、息子のビーバー友達親子と、ボーイ隊長が合流。ご飯を炊いて食べるとあつという間になくなるが、ここまでの過程を考えると有難く食べなければならない。





やっとやる気になったビーバースカウト。写真では、張り切ってやっているように見えるが、でも、すぐに飽きてしまった。自分の子供の頃の稲刈りの手伝いを思い出すと、まあ、こんなものか。納得！ 10時と3時のお茶の時間だけが楽しみだった。スカウトたちの脇の草が伸びている部分は未開墾である。



脱穀のことを考え、刈り取った稲は、自宅へ持ち帰り、庭に掛け干しにした。だが、庭の十姉妹のエサを狙ってスズメが来るので大丈夫だろうか？ カカンでも立てなければならぬ。そうだ、今年の「里美カカシ祭り」の出品作品も作らなければならない。今年は、「20世紀少年」か？ 娘スカウトは「ポニョ」が良いとか言っている。さて、どげんしようか？

脱穀が問題だ。手で1本ずつやるのも大変なので、竹の千歯こぎを作成しなければならない。どなたか、近所に千歯こぎを持っている人を紹介してください。いや、脱穀機（ハーベスター）があればかなり楽なんですけど。現状では、ほぼ、弥生式農法または、ダッシュ村状態である。

でも、昨今の中国汚染米とは異なり、「無農薬米」なのでそのくらいの努力を惜しんではいけないかな。

粳からの精米は、嫁実家の方のコイン精米できるそうだ。残念ながら牛久近辺にはないらしい。

稲刈りをしてから、千歯こぎを作ることになるとは、夏休みに九州の実家に帰った際に、納屋の2階に先祖代々の千歯こぎがあるとあてにしていたら、牛や馬に引かせる代掻き用の農具であった。持ち帰りスカウトたちに引かせる手もあったが、保管場所に困るのであきらめた。稲刈りが終わってから、千歯こぎを作るとは、まさに「泥縄」（泥棒を捕まえてから縄をなう）状態である。反省である。嫁実家とボーイ隊長の実家（岩手？）には、足踏み式脱穀器があるそうだが、大きくて運べない。残念無念じゃー！



～ これらのページの文と写真は、カブ隊M副長によるものです。～

WANTED

ALIVE (使用可能品)



千歯こぎ
無農薬米 2kg REWARD